

中学歴史プリント（基礎確認） 安土桃山時代

名前

得点

/15

問1 16世紀半ば、日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルなどが所属していたカトリック教団を何という？

1. イエズス会 2. ベネディクト会 3. ドミニコ会 4. フランシスコ会

問2 足利義昭が京都から追放され、室町幕府が事実上滅亡した年はいつ？

1. 1600年 2. 1573年 3. 1568年 4. 1582年

問3 安土桃山時代に、千利休が大成させた、静かな空間で茶を楽しむ様式を何という？

1. 能楽 2. 連歌 3. わび茶 4. 歌舞伎

問4 宗教改革後、キリスト教を広めるために日本へ派遣されたイエズス会の宣教師は誰？

1. ヴィレラ 2. ルイス・フロイス 3. オルガンティーノ 4. ザビエル

問5 マゼラン艦隊が世界一周の航海に出発した年はいつ？

1. 1519年 2. 1522年 3. 1498年 4. 1492年

問6 マゼランの艦隊が史上初めて成功させた、地球をぐるりと一周する航海を何という？

1. インド航路開拓 2. 世界一周 3. 大西洋横断 4. 新大陸発見

問7 16世紀のドイツで、免罪符の販売を批判し、聖書に基づいた信仰を主張して宗教改革を始めた人物は誰？

1. カルバン 2. イグナティウス＝デ＝ロヨラ 3. ルター 4. ザビエル

問8 15世紀後半から17世紀にかけて、ヨーロッパ人がアジアへの新しい航路を求めて探検し、世界の地理的認識が広がった時代を何という？

1. 宗教改革 2. 市民革命 3. 産業革命 4. 大航海時代

問9 鉄砲の伝来によって大きく戦術が変容し、地方の武士団が争いを続けた時代を何という？

1. 江戸時代 2. 戦国時代 3. 鎌倉時代 4. 安土桃山時代

問10 全国の土地を調査し、支配体制を強化した人物は誰？

1. 豊臣秀吉 2. 織田信長 3. 徳川家康 4. 武田信玄

問11 安土桃山時代に全国統一を進め、政治・経済の拠点として築いた人物は誰？

1. 織田信長 2. 徳川家康 3. 豊臣秀吉 4. 明智光秀

問12 インドへの航路開拓を目指し、アフリカ大陸南端の地を拠点とした国はどこ？

1. オランダ 2. スペイン 3. イギリス 4. ポルトガル

問13 宗教改革において、信仰の唯一の基準として、その教えに立ち返ることを人々に訴えた書物を何という？

1. 聖書 2. 免罪符 3. 教皇勅書 4. 賛美歌

問14 安土桃山時代の検地において、土地の面積を測るために全国統一された道具を何という？

1. 貨幣 2. ものさし 3. 枴 4. 秤

問15 16世紀のヨーロッパで、カトリック教会の腐敗を批判し、聖書中心の信仰を説いた人物は誰？

1. ツヴィングリ 2. エラスムス 3. カルヴァン 4. マルティン・ルター

答え合わせ・解説

問1	答え 1 イエズス会	16世紀、大航海時代を経て欧州から宣教師たちが日本へ訪れました。彼らが所属していたイエズス会は、キリスト教の布教を積極的に行いました。その活動は、キリスト教の普及だけでなく、南蛮貿易の窓口ともなりました。のちに豊臣秀吉によるバテレン追放令などの弾圧を受けますが、当時の日本と西洋の文化・経済交流において多大な影響を与えました。
問2	答え 2 1573年	しかし、義昭は信長を倒すために諸大名へ協力を求めるなど策を弄したため、ついに信長から追放を受けました。この1573年の出来事により、室町幕府は実質的に滅亡しました。
問3	答え 3 わび茶	千利休は、限られた道具の中で心の交流を大切にする「わび茶」を完成させました。質素ながらも洗練された美意識は、当時の戦国武将たちの間でも高く評価されました。
問4	答え 4 ザビエル	ザビエルはスペイン出身の宣教師で、インドを経て1549年に日本の鹿児島へ到着し、キリスト教を初めて伝えました。当時の日本は戦国時代で、各地の大名も南蛮貿易による利益を求めて宣教師を保護しました。
問5	答え 1 1519年	1519年9月、マゼランはスペイン王カルロス1世の支援を受けて、5隻の船と約270名の船員を率いて出航しました。大西洋を渡り、南アメリカ大陸を迂回して広大な太平洋を横断するという、当時の技術では極めて困難な挑戦でした。
問6	答え 2 世界一周	1519年に出発したマゼラン艦隊は、南アメリカ大陸の南端にある「マゼラン海峡」を発見し、そこを抜けて太平洋へと出ました。補給不足や病気といった困難に直面しながらも、フィリピンを経てインド洋を通り、大西洋を北上してスペインへ戻りました。
問7	答え 3 ルター	ルターは1517年に「95か条の論題」を発表し、信仰のよりどころは教会ではなく聖書にあると主張しました。この主張は活版印刷術によって急速に広まり、多くの人々の支持を得ました。
問8	答え 4 大航海時代	ポルトガルやスペインなどを中心に、羅針盤や大型帆船など航海技術が急速に発達しました。これにより、バスコ・ダ・ガマによるインド航路の開拓や、コロンブスによる新大陸への到達、マゼラン艦隊の世界一周などが相次いで行われ、世界が海路で結ばれました。
問9	答え 2 戦国時代	戦国時代は、各地で地域的に有力な武士（戦国大名）が領国支配を進めた時代です。1543年の鉄砲伝来により戦術が一変し、大規模な歩兵による集団戦が可能となりました。織田信長をはじめとする強大な大名が登場し、全国統一を目指して激しい攻防を繰り返しました。
問10	答え 1 豊臣秀吉	豊臣秀吉が全国で行った「太閤検地」は、土地の広さを一律の基準で測り、米の収穫量を「石高（こくだか）」として計算する調査です。これにより、誰がどれだけ収穫を得られるかを明確にし、確実に年貢を集める体制を確立しました。
問11	答え 3 豊臣秀吉	豊臣秀吉は、関白として全国の武家を統制し、検地や刀狩といった政策を行って支配体制を安定させました。経済の中心地であった大坂に巨大な城を築き、その権力を象徴させました。また、朝鮮への出兵を命じるなど、軍事行動にも積極的でした。
問12	答え 4 ポルトガル	ポルトガルは国家事業としてアフリカ西岸の探検を支援し、インドへ直接向かうルートを模索しました。その結果、アフリカ南端の喜望峯を経由してインドへ至る航路が発見され、ポルトガルはアジア貿易の覇権を握ることになりました。
問13	答え 1 聖書	ルターやカルバンは、信仰の根源は教皇の教えではなく「聖書」にあると説きました。この主張により、一般の人々が聖書を読み、自分たちで教えを解釈する動きが広まり、印刷技術の発達によって翻訳された聖書が広く普及しました。
問14	答え 2 ものさし	豊臣秀吉は、全国どこでも同じ基準で計算できるよう、長さの基準となる「ものさし」や、容量の基準となる「京枴」を定めて統一させました。これにより、全国の田畑の広さと生産高を正確に把握することが可能になりました。
問15	答え 4 マルティン・ルター	ドイツの神学者マルティン・ルターは、これに強く反発し、「信仰のよりどころは教会ではなく聖書にある」と説いて宗教改革の狼煙を上げました。彼は聖書をドイツ語に翻訳し、広く一般の人々が聖書を読めるように努めました。